

復刊 大学のみま



神紋：丸に五三桐

四季折々 神社と人が魅せる 畏敬と感謝の心

参道の玉砂利を踏みしめ 木々のエネルギー
を頂いてから拝殿へ 参道は清らかな気であ
ふれて この心地よさ 北館神社参道



神道は日本人の生活と深いかわり
を持っています。日本に風土や生活
を習慣に基づいて、自然に発生した
独自の神観念です。自然万物に継承
された祖神(みおやがみ)の霊に對し
の念の深い感謝を持つて貫く、今
の生命の流に絶えざる続けている
心の伝承・・・それが神道です。

神道には、開祖や教祖はいません。し、教えを説く教典（経典）などはとありませぬ。あてまさん。れや神道は始めから宗教なく、弘んでる。私に教本を認る。陸の習慣・信仰が祖神の御心に日に従う。惟神（かながら）の御心で意識されるようになります。

神道の特長として、一つには外来宗教（仏教・儒教・道・鏡など）を受け入れてきた寛容さが挙げられます。

が、わが国独自の神観念は変わらず、
現在まで連綿と受け継がれています。
もう一つは、神々を敬い先祖を大
切にする敬神崇祖（けいしんすうそ）とい
う考え方は、ほかの宗教のように、
神々が隔絶された存在でなく、私た
ち日本人の祖神として、深いつなが
りがあるということを示しています。
ですから自分たちの祖先を丁重におに
て祀ることは、神々を祀ることに
なるのです。

森（自然）の中に神社を建て、
を祀るということは、日本人が生活する中で、
を豊かに育んできた自然の中に、神々を
力を感じる、恐れ敬う（畏敬）も心の
もつて、接し、恐れた敬う（畏敬）も自然
とてこれを大切にするに、伝え
調和をは、神道の心・日本
こころになるでしょう。

お宮に行こう！

知ってるようで知らない

『神社のあれこれ』

⑥素朴な疑問

お神おす
てはるま
い回すし
つ今聞え
こ。に答
とす問お
こま疑て
なりない
々あ朴つ
色が素に
はせるせ
にわすわ
社合関合
神いにい
問社問

●神主さん(神職)って
どんなことをする人?

様和さいえ者まのてでど
神平皆な伝拝いりしちか
での、のお参て参に持
社域た礼でとつおつ氣し
神地ま失詞様担で一るろ
は、に祝神を願をすよ
本す様とは目祈心仕ば
職日ま神法ん役ごと奉れ
神、いを作さつ、んごけ
（して事式主持めさにだ
ん仕しい祭神りた主様た
さ奉り願、との神神いす
主々祈おにすをそ、にりま
神日おのうま間。は緒参
にをんよしのす際一と思
で地

●お賽銭は
何のためにする？

のたもついいれの
海しとなているへ
めまどにれげあ様
じき及うわ投が神
はて普よいを味、
をれのると金意だ、
米ら幣れりおのた
はえ貨らまに」。
に供、え始箱えす
前がえ供の錢被ま
神幸加も錢賽「い
のに錢金お、て
来、山ら金が。はれ
古やれ、のすのわ
幸こにたまるい

供え物であるので、感謝を込めて、
丁寧に賽銭箱に入れるようにしま
しょう。

●御神札や御守は どのように扱うの？

れお祀が身つ。うはぞてお社にずすよ。はうか神ば、をま担喧守れして神常とでい。品と神。れ。数さ分が御そし家いを様のな。商」はす。あん。複神割士や、遷をさ守神なの。のう守で心まつとまん。札てお札小御、じと。社買御のるり御一んさせ神めを神に。は同こう神「。なすたやつち神ま御清霊御中すとうよはをすのに当札一きでりるい神りのでこの扱し守守でも切は神、のあけ祓御ま家じくるにま御御い」大に御もりすは受がのつ、同おい末けや、違るを礼にておまとでん様。ととてに粗付札で間け守無みいていこ社さ神するのけ緒てを神のは受御てなてつてる神主氏まする付一し気御い現「やしちっ宿れす神のりりあにと決に。な表ら札決。持がさ嘩

●氏神さまあれこれ

しらと「ま」らわ押 には名自もしごろし合ち
にかま守さ社暮か参。域よじ。と押にた礼き持
耳わさを神神のからう。地と同たこ参会つ一付気
くか神域氏神々もかよ辺」はしるに機かでおが
よ在氏地で氏日最頃し周」まです様をが前た日
て存?ると「のる日まのこさ神押神れり居し毎
つなはいこをちさ。め社う神り参氏こ通鳥とどす
んででの社ただす深神(氏守に、は?もつるま
みどのん様神私くでを子子、の社が方はてよみり
がはい住神る。て様き氏氏来族神すいてくちてな
じ)実多がるすすつ神つに「本一なまなみな、めに
う、がちさりま守いびみは。つきしがてきり始の
神が方ただ祀い見深結な人す持好めとしてたらも
氏すい私くおいをのてちむまをの勤こ撈押みかい
まなはてをとしりし 住れ字分おた挨参てい良

●「直会」って何？

え席だえで、に食す。ら直は
備へた供の身にま得。の
にめいにるを共しがたる
（神改に神い霊が味護しい
饌とす。て神人意加まてん。
饌がまもと神）神て解ま
て者いここ、食、れ理り
に、げ列いがるり共てらにあ
後下参と霊べな人っえうは
了を、会神食に神よ考よで
の米直をしと（にとの味
神事やりと饌がるこ共も宴の
たにくたお受す神れ会本

北館・北館・北楯のなぞ？

「キタダテ」の『ダテ』を使いわけて
いますがなぜですか？

北館神社の御祭神であり、愛称大学さまの北館大学助利長公のダテは「**館**」を使用。

北橋家は二代目以降、現在16代まで「橋」を使用

北館神社の名称は、安永7年(1778)に神として祀られたとき、北館水神社として『館』を使用。大正10年(1921)名称変更に伴い北館神社となり「館」を使用。

神宮大麻

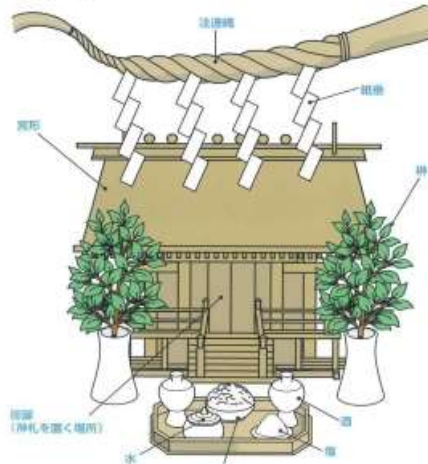
は祭あ本天か勢大呼神まき
をの札も、あおみ伊宮とのさて
さまおでます宿「神」庭神
神は、おさまたるは「神」家神
氏のに宿な神の力を札は「神」か
地域の社がす。氏神（あまてらす
むの神のまの総大神（おみ）御神
住むのり人照大（じんぐうたい）宮
が各地の神り人照大（じんぐうたい）宮
人々が住む地域の氏神さまを祭
じ、各地の神の力を総大神（あまてらす）御神（おみ）に祈る。

地域には、お配りしましたが、若干の残がありますので必要な方は連絡ください。

中型1800円 小型1300円

神棚の正しい祀り方は？

神棚は、家の中に神を祀るために設けられた棚のことです。棚の上に宮形を置き、その中に神札が収められています。神棚は清浄な場所で、日当たりがよい東か南に向けて設置するのが基本です。祀るときは、神を立てて、米や塩、水などを供え、二拝二拍手一杯の参拝作法で拝みましょう。



掛の水や神饌は毎日取り替えるのが基本。供えた神饌には神霊がこもっているの
で、食べることで神に限りなく近づくことができる。

お供えの置き方

お神酒がある場合



お神酒がない場合



重ねて祀る場合



並べて祀る場合



2018年8月 山形県内で初登録 世界かんがい施設遺産

—米どころ庄内平野の礎を築いた—

北楯大堰



遺跡体感ツーリズムin

楯山公園 と北楯大堰

10月12日

主催 山形県埋蔵文化財センター

參加紀行文

庄内町狩川在住

明たら年ま
説いか0さ
のて地0学
でせ各4大
地さ内ておす
現加果つなま
俊の参形と今に
石川まり山に、
さ知（ちがまる
学の。た物しす
大のた私人親保
のるし）ので確
元あま前人称を
地がき9上愛水
会だ1以の走m
内こ見りとは場

奔57庄る。ば側今フの
に5にすはく東）ル
高西置をきがうゴ鰐
位野大るいドの
平がいてン民
はに平がいてン民
要内木はけラ住
眺の庄はて開グて
扇は在ってし
望現な望しと
眺と眺と所
みは園名
城がらるのに公の
の山野かせ部側山桜
の平こ渡一北橋や

丸山（現門グーのまき）
本（西戸）に広学像
として大東井、夏に大想像
跡と（大輪堀る）面は眺め
城跡（曲空）でいける。の
る。ま（口き）ででんが
の（虎湧）出がたつ
三と（水見）じと
な（倉）400年前か？
二城大在なり穀はいた

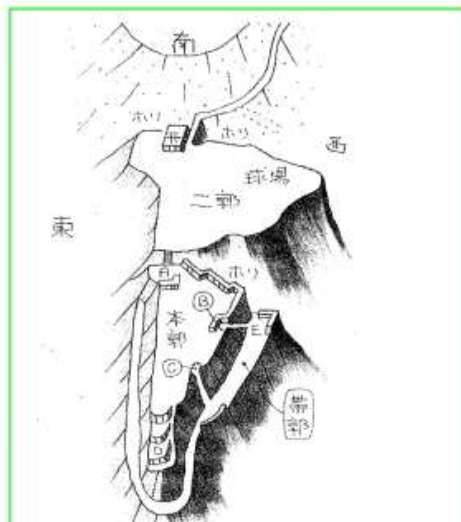
学て。し法光2
 大した探方義1
 、とし水の上6
 り師がりめ最1
 戻技気たたとと
 に量たわす書も
 前測れに流画の
 年、らきに計力
 0術け長間た協
 0技つうのそれ
 4木せいそさ全
 、土見と、尽、
 てのを年走算し
 さま力0奔計示
 さの1にやに年
 7か3成。3た
 0こ難つり定
 をく安流考に
 野屈

[illegible]

狩川城跡は楯山公園として 桜の名所となっている



山形県中世城跡調査報告書（109頁）
（平成9月5日山形県教育委員会発行）



北側から見たイメージ図を作成しました。この図の二郭を城域と考えない人もいます。

*土の城への衝動・狩川城（ホームページより）

のある農業用水利施設を登録する「国際かんがい施設遺産」に選出。2006年（平成18）に全国疎水百選に選出。2008年（平成20）北楯大堰の水源の立谷沢川は平成の名水百選選出。

400年の時を越えて 米どころ庄内平野の 礎を築いた 北楯大堰

1612年（慶長17）山形藩主最上義光の家臣狩川城主北館大学助利長公が10年にわたる調査を経て、立谷沢からの灌漑を建設しました。1日7400人の作業員を動員し、わずか4か月で約10キロの水路を完成。その後、延長工事を行い、総延長32キロとなった。この開削をきっかけに約5000haの新田が開発され、88か村が開村しました。

新田は米の産地となり、庄内平野の礎を築きました。北楯大堰は、米どころ庄内平野の礎を築いた大堰です。2018年（平成30）8月、歴史的価値



子供の健やかな成長を願って 七五三詣り

令和6年下半期の活動

【北館神社日誌】

- 【6月】
 - 1日 見龍寺大般若（大学さまの菩提寺）
 - 3日 北楯・吉田堰開削功労者顕彰感謝祭
 - 4日 神社庁東田川支部第六区会総会
 - 19日 神社庁東田川支部関係者大会
 - 30日 夏越の大祓
- 【8月】
 - 23日 神社庁六区評議員会
- 【9月】
 - 2日 北館神社講大祭
北館神社講大祭が、9月2日午前10時から斎行し、講員100名が参列、山野海の神饌が献じられ、宮司の祝詞奏上では、報恩感謝と五穀豊穡、講員の家内安全を祈願。
2日 北館神社崇敬会大祭
9月2日午後3時から北館神社崇敬会大祭が厳かに執り行われました。北楯大堰からの恵みを受けて豊穡の秋を迎えたことに感謝。関係者が玉串奉奠を行いました。祭典終了後、総会が開催され、事業報告、会計報告が行われた後、齋藤秀樹崇敬会会長から

北館神社への寄付金が贈呈されました。

- 【10月】
 - 8日 神社庁六区研修会（春日神社）
 - 9日 神宮大麻頒布式（出羽三山神社）
- 【11月】
 - 10日 七五三（庄内町余目清野様）
 - 21日 神社庁県関係者大会
 - 22日 秋祭
11月22日午前11時から北館神社の秋祭が行われ、今年の豊作に感謝し、責任役員が玉串奉奠を行いました。
- 【12月】
 - 8日 針供養（株式会社カリカワ様）
 - 31日 年越の大祓



令和7年(2025) 主な祭典行事予定

元旦祭	1月1日 午前9時30分
春祭	4月25日 午前11時
前夜祭・墓所祭	4月30日 午後2時
例大祭	5月1日 午前10時
夏越大祓	6月30日 午後4時
崇敬会大祭	8月下旬
講社大祭	9月2日 午前10時
秋祭	11月28日 午前11時
年越大祓	12月31日

令和6年下半期の活動

【兼務社日誌】（10社）

八幡神社・瀧澤神社・御嶽神社・皇大神社
・薬師神社・三上神社・廣田神社・熊野神社
・西田神社・阿古屋稲荷神社

【7月】

- 1日 薬師神社風祈禱
17日 八幡神社役員会
31日 八幡神社大祓い神輿洗い

【8月】

- 15日 皇大神社例祭
16日 御嶽神社例祭
18日 三上神社例祭
20日 八幡神社前夜祭
21日 八幡神社例祭
22日 八幡神社馬場地域安全祈願祭
22日 熊野神社例祭
24日 廣田神社例祭
27日 瀧澤神社前夜祭
28日 瀧澤神社秋例祭

【9月】

- 1日 阿古屋稲荷神社秋祭
1日 藤乃森稲荷神社講秋祭
7日 薬師神社秋祭
7日 楯山城主斎藤新九郎墓所祭
13日 西田神社秋祭

【11月】

- 23日 八幡神社新嘗祭

- 23日 皇大神社新嘗祭
23日 三上神社新嘗祭・御歳夜
23日 御嶽神社新嘗祭・古峯講
23日 薬師神社新嘗祭
28日 瀧澤神社新嘗祭
【12月】
22日 御嶽神社大祓

令和7年(2025) 厄年早見表(女性・男性一覽)

*年齢は数え年です

女性厄年			男性厄年		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
平成20年生 2008年 18歳 ね	平成19年生 2007年 19歳 いのし	平成18年生 2006年 20歳 いぬ	平成12年 2002年 24歳 うま	平成13年生 2001年 25歳 み	平成12年生 2000年 26歳 たつ
平成8年生 1994年 32歳 いぬ	平成5年生 1983年 33歳 とり	平成4年生 1992年 34歳 さる	昭和60年生 1985年 41歳 うし	昭和59年生 1984年 42歳 ね	昭和58年生 1983年 43歳 いのし
平成2年生 1990年 36歳 うま	昭和64年/ 平成元年生 1989年 37歳 み	昭和63年生 1988年 38歳 たつ	昭和41年生 1966年 60歳 うま	昭和40年生 1965年 61歳 み	昭和39年生 1964年 62歳 たつ

色々(いろいろ)威(おどし)胴丸(どうまる) 山形県指定文化財



今回、庄内町では指定文化財の周知を図り、文化財の保護につなげていくため、指定文化財説明板の整備が行われました。北館神社拝殿前に設置されました。

この胴丸は、北館大学助利長公が最上家親から拝領したと伝えられ、北館神社の社宝となっています。

昭和31年（1956）山形県指定文化財（工芸品）に指定。典型的な桃山様式で、胴をはじめとした各部位は、紫・浅葱・紅の三色の色で威されています。兜は頂部が尖がった突兜。五三の桐紋金具。

清々しい気持ちで 心を整えまじょう

大 祓

12月31日
午後2時

受付 午後1時

元旦祭

1月1日
午前9時30分

受付 午前8時30分

清浄な本来の姿を取り戻す大祓

大祓（おおはらえ）は日本人の伝統的な考え方に基づくもので、「常に清らかな気持ちで日々の生活にいそしむ」よう、自らの心身の穢れや災厄の原因となる諸々の罪・過ちを祓い清めることを目的としています。

この行事は、古事記や日本書記に見られる伊弉諾尊（いざなぎのみこと）の禊祓（みそぎはらえ）を起源とし、宮中においても古くから行われてきました。中世以降、各神社で年中行事の一つとして普及し、現在では多くの神社で毎年行われてます。



来年1年の無事と平安を祈願

新しい年の新しい月の新しい日に、来年1年の家内安全・身体堅固の願い事を神前で手を合わせてはいかがでしょうか。



当日参拝者には干支の絵馬と家庭本歴（神社庁編）を差し上げます。

郵送による祈願受付もお受けします

申込書を送付しますので、内容をご記入の上お申し込みください。
北館神社社務所 0234-56-2709

《編集後記》

日頃から北館神社の御祭神北館大学助利長公（愛称大学さま）への篤い崇敬の念をお寄せいただいていることに心より御礼申し上げます。

400年の時を超えて米どころ庄内平野の礎をつくった北楯大堰。現在も《大学堰》の愛称で親しまれております。先人たちの篤い思いを末永くつなげていきたいと思ひます。

- 発行：別表神社北館神社社務所
（6月・12月の年2回発行）
- 住所：山形県東田川郡庄内町狩川
字笠山400番地
- 電話：0234-56-2709
- メール：kitadatejinja.jimu@gmail.com
- 郵便為替講座：02260-9-138163
北館神社

*北楯大堰・北館神社・北館大学助利長公に関する情報をお寄せください